

0 理念

進捗状況報告

(1) ①2003年度から学生の多様な進路希望に対応することを目的に、コース制を実施している。2006年度には、コース制を利用した最初の卒業生に対しコース制の意味等についてアンケート調査を行い、現在その結果を分析、検証している。②学部予算からゼミ活動補助費を支出し、少人数教育の改善に役立てている。
(2) コース制についてのオリエンテーションを実施する等、学部教育の理念や目標について学生に語り、理解を得る機会を増やしている。基礎演習のあり方等については現在検討中である。

学内第三者評価

設定目標の一つに学生の多様な進路希望の実現があげられているが、この目標の達成に向けて、2003年度からコース制を導入し、現在も引き続きその成果の分析をおこなうとともに、更なる充実を図るべくオリエンテーションの実施など、努力を続けていることは評価できる。また、もう一つの目標にあげられている少人数教育による人格形成についても、基礎演習の改革に着手するなど、改善が進んでいる。

なお、特別委員から以下の意見があった。

- 全体として設定された具体的目的に沿って改善が進められている。
- 1学年650人の法学部でコース制は適切な対応でありオリエンテーションは重要である。またオフィスアワーの設置は適切である。
- 1クラス25人程度といわれる少人数教育、特に1年生の必修科目、についての評価はどうか。400-500人の大規模授業のある中で少人数教育は目標達成のために極めて重要である。引き続き多人数を対象とした講義科目を減らす努力が大切である。